

校長あいさつ

今元小学校は、明治5年「学制」の公布により、旧藩時代の仲津郡今井村の社倉の建物を譲り受け、「育英校」と称して今井の地〈現今元公民館付近伝〉に創立されました。

それから、「育英小学校」〈明治8年〉、「今元尋常小学校」〈明治22年〉、「今元尋常高等小学校」〈大正3年〉、「今元国民学校」〈昭和16年〉、「京都郡今元小学校」〈昭和22年〉そして、市政施行〈昭和39年〉によって「行橋市立今元小学校」とその名を変えながら150年近くの歴史を刻んできました。



校区は、行橋市の北東に位置し、すぐ横を祓川が流れて、北に広がる周防灘へと注いでいます。山・川・海の自然に恵まれた環境の中で、須佐神社や浄喜寺など、伝統ある古い神社や寺も多く地域の行事も盛んで、児童は文化的な環境にも恵まれています。

また、地域の方々の協力や支援を受けながら、昭和52年に結成された「今元交通少年団」や、同じ頃始まった「長井の浜清掃活動」が現在まで引き継がれていて、地域の学校としても大切にされています。

学校教育目標は、「自ら学び、心身ともに健康で、人間性豊かな活力ある児童の育成」を掲げ、「**笑顔・さわやか・チャレンジ・今元**」を合言葉に、教育活動に取り組んでいます。

支え合う子【笑顔】

- ① 進んであいさつをする子
- ② 掃除や仕事、手伝いを頑張る子
- ③ 友だちのよさを見つけ、励まし合う子

鍛え合う子【さわやか】

- ① いきいきと体を動かす子
- ② 早寝・早起き、朝ご飯を食べる子
- ③ きまりを守り、安全に生活できる子

学び合う子【チャレンジ】

- ① 自分の考えを表現し合う子
※ 自分の考えをもつ〈書く〉
※ 自分の考えを伝え合う〈話す・聞く〉
- ② 家庭学習を頑張る子
- ③ 本をたくさん読む子

令和2年度からは、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支える学校運営協議会の設置に向けて準備をし、令和3年度、行橋市教育委員会からコミュニティスクールとして指定されました。「**コミュニティスクール今元小**」の新たな一年が始まります。

コミュニティスクール今元小は、今元小学校学校運営協議会での保護者や地域の声を学校運営に直接反映させ、学校・家庭・地域が一体となった「地域とともにある学校」をつくり上げていくことをめざしていきます。早速、第1回今元小学校学校運営協議会が開催され、学校と地域でどのような子どもを育てていくのかという目標を共有し、学校と地域の人々が連携・協働して活動していく地域学校協働活動について話し合いました。



豊かな自然と温かい地域の絆に恵まれたこの伝統ある今元小学校で、学校と家庭・地域が連携し、子どもたちの将来を見据え、目標とする子ども像に向けて、これからも一層、教育活動を充実させていきたいと思えます。

校長 六枝英毅